

～リーグ戦・七大戦・オープン戦～

○春季・秋季リーグ戦

私たちの野球部は仙台六大学野球連盟に所属しています。この連盟には東北大学の他に東北福祉大学・仙台大学・東北学院大学・東北工業大学・宮城教育大学が所属しており、1部制で毎シーズンこの6大学で7週間にわたって対戦します。会場は東北福祉大学球場で2019年に球場が改修され、人工芝グラウンドとなりました。東北福祉大学、仙台大学、東北学院大学はプロ野球選手



生還したランナーを迎える東北大ベンチ

を輩出する名門強豪チームであり、東北工業大学や宮城教育大学も元プロ野球選手が指導をしています。これらの5大学は手強くてなかなか勝てず、近年は5位か6位という結果に終わっていますが、強力な相手に勝利するために日々練習を積み重ねています。また、将来ドラフトで指名されるような選手と対戦することができる貴重な機会でもあります。リーグではDH制を採用しており、ベンチ入りは25名で毎試合入れ替え可能となっています。なお、リーグ戦は応援団が声援と吹奏楽、チアのパフォーマンスで盛り上げ、私たちが後押ししてくれます。

○七大戦

日本には旧帝大と呼ばれる大学が7つあり、東北大学の他に北海道大学・東京大学・名古屋大学・大阪大学・京都大学・九州大学となっています。毎年8月中旬にこれらの7大学によってトーナメント方式で優勝を争う大会が七大戦です。会場は持ち回りで、2019年度は九州で開催されます。3日間試合をした後はレセプションで7大学が集結し、交流を深めています。この七大戦では近年2位か3位に位置しており、私たちは七大戦の優勝を目指しています。



北海道で開催された
七大戦のレセプションにて

○オープン戦

リーグ戦の前後で積極的にオープン戦を組んでいます。多くの試合は、普段練習で使っている東北大学富沢グラウンドで行われます。例年3月には関東に遠征し、夏や秋には新潟や北関東、東北各県に遠征することもあります。企業のチームやクラブチームとも試合を行いますし、2016年度に独立リーグ所属の新潟アルビレックス、2017・2018年度では東北楽天ゴールデンイーグルスの2軍・育成チームと試合をしました。公式戦に出場するためにはオープン戦で監督・コーチにアピールする必要があるため、各選手とも懸命に取り組んでいます。

